令和元年度グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

阿蘇中岳第４火口ジオツアー開発プロジェクト

ポイント

課題

阿蘇中岳における火口見学は、一般に第１火口をメインに観光客が訪れている。この中岳火口、実は7つの火口を有していることをほとんどの人々は知らない。中でも第4火口は、かつては火口に入れた時期もあったが1979年9月の第1火口噴火以降、常時立入禁止区域となっている。このような現状から第４火口は観光資源として注目されていなかったが、阿蘇中岳の有する観光資源を最大限活用するためにも、この第４火口を活かしたコンテンツを造成できないか検討する必要があった。

打ち手

モニターツアーを受け、阿蘇中岳ジオツアー全体について外国人が高い関心を抱いており、阿蘇の山に対して観光資源としてポテンシャルを感じていることが分かった。

そこで、欧米豪市場に訴求しうる新たなキラーコンテンツとして、現在立ち入り禁止区域である阿蘇中岳第４火口の中を、人数限定によりリスクマネジメントを備えた専門ガイドが案内するという他とは差別化されたスペシャルツアーの造成を図った。

コンテンツ情報

体験詳細

①阿蘇中岳第４火口ジオツアー
…阿蘇中岳の全体像を鑑みながら、常時立入禁止である第４火口内部に入るこのツアーでしか足を踏み入れることができない特別コースを巡る。また、ガイドと共にコースを回る中で、阿蘇山の成り立ちから歴史・文化にまで触れることができる。
②杵島岳火口ジオツアー(①の代替コンテンツ)
…阿蘇五岳の１つである杵島岳のトレッキングを行うコースを巡る。噴火警戒区域外にあり、中岳に入れない際は、このコースで火口のお鉢巡りと火口内部へ入る。

価格・受入情報

阿蘇中岳第４火口ジオツアー
【価格】目安１名：11,000円
【実施時期】
【所要時間】２時間20分
【催行人数】２～10名
【集合場所】阿蘇山上広場

販売・プロモーション方法

調整中

阿蘇中岳第４火口

杵島岳トレッキング

モニターツアーの様子（杵島岳山頂）

成　果

噴火警戒レベルにより火口から１km以内が立入規制という状況が続いたことから、第４火口の内部に入る特別なコースを造成するという当初の目標は達成していないが、リスクマネジメントを備えた専門ガイドの育成や特別な他とは差別化されたスペシャルツアーとしての運用体制の確立ができた。また、火口周辺は、気候や火山活動の影響により、近づけない場合もあることから、杵島岳をメインとした代替えコースも造成できた。今回は、その代替えコースによるモニターツアー及びファムツアーを実施したが、このコースでも阿蘇の魅力は十分に満喫できると一定の評価を得ることができた。